



地域観光支援室 活動レポート No.15 (2015.8.1)

観光ガイドアプリ開発 南稚内商店街と連携しての事業始動

稚内北星学園大学 情報メディア学部 藤崎達也 安藤友晴

はじめに

7月30日(木)観光ガイド事業論の講義にて、南稚内商店街のすし処美奈味の千葉氏をお招きし、ワークショップを開催しました。これは、観光ガイド事業論(担当:藤崎)及びソフトウェア制作演習(担当:安藤を含む情報系教員)の講義を連続受講することにより、観光情報の収集や発信の仕方を学び、最近主流のスマートフォンによる情報提供を可能とするためのアプリを開発するものです。

これまでの活動経緯と成果

この取り組みは、観光まちづくりと本学の得意分野である情報メディアの融合を探るカリキュラムとして開発され、今年度春から行なわれています。概要は次の通りです

■「観光ガイド事業論」 前期15回

稚内市内の観光事業者との連携事業。今年度は南稚内まちあるきガイドマップ制作を通して(1)取材力・取材手法(2)地元の人にしかわからない「ちょっとした情報」の収集(3)地元の間人が積極的におもてなしに関わる仕組みづくり、を学んでいます。

■「ソフトウェア制作演習」 後期15回

「観光ガイド事業論」で収集したデータをITシステムで管理するとともに、このデータと位置情報を紐付けることにより特定の位置情報に関連するデータを表示できる「観光ガイドアプリ」を開発するものです。観光ガイドアプリはスマートフォン上で動作するものとし、仕様は次の通りを予定しております。(観光ガイドアプリの仕様案)

- ・観光ガイドアプリはHTML5/JavaScriptベースとする。
- ・位置情報に紐付けられたデータはインターネット上に配置し、HTTP経由で取得できるものとする。

今後の展望

今後、当実行委員会の事業スタートアップを引き続きサポートし、稚内の新たな観光コンテンツとして成長することを見守るとともに、COC事業と関わる企業などとのマッチングに務め、稚内地域の観光振興に寄与したいと考える。



南稚内商店街のすし処美奈味の千葉氏



学生を交えてのワークショップの様子

今後の展望

今後、当実行委員会の事業スタートアップを引き続きサポートし、稚内の新たな観光コンテンツとして成長することを見守るとともに、COC事業と関わる企業などとのマッチングに務め、稚内地域の観光振興に寄与したいと考える。